

青年委員長 新任あいさつ

キーワードは「地域貢献」「スキルアップ」「仲間づくり」
建築士会のブランド力アップに貢献できれば・・・

青年委員長 針ヶ谷 拓己

今年から青年委員長を務めさせていただきます、針ヶ谷です。よろしくお願いいいたします。

私が青年委員会へ入会したきっかけは、建築士会から届いた懇親会案内のダイレクトメール。当時、社内の現場管理部門から設計部門へ異動となつて間もない時期でした。部署内に同世代の相談相手もいなかったことから、建築士会活動に参加することで同じ仕事に携わっている「仲間」ができるのではないかと考え、青年委員会に入会しました。

あれから数年経ちましたが、まさか私が青年委員長になるとは・・・。今までは、毎年行われている事業や、指示を受けた仕事をこなしていれば、それで良かったのですが、委員長となると、そうはいきません。青年委員長になるにあたり、まず「建築士会」の活動目的とは何なのか、どのような活動をしていくべきなのかを改めて考えてみることにしました。

建築士会綱領や北海道建築士会定款には、その目的として「社会の福祉増進と北方建築文化の進展に寄与」「建築士の品位の保持、技術の向上」という内容が謳われています。この内容をキーワードとしてまとめると、①「地域貢献」②「スキルアップ」なのかと・・・。そして私が建築士会で大切にしている、③「仲間づくり」を加え、この3つのキーワ

ードを青年委員会活動の柱とさせていただきます。

□地域貢献

昨年より青年委員会では、町内会と建築士会とのコラボレーション活動を行っています。昨年4月には「みんなの街の美観を考える～これからのゴミステーション～」をテーマとし、青年委員会が提案するゴミステーション（カラスよけサークル）を町内の方々でディスカッションし、より良いカラスよけサークルを製作して寄贈いたしました。昨年11月には上記イベントの第2弾として、「わがまちを魅力ある“ふるさと”に」というテーマで、町内会の方々とワークショップを行っています。

来年の全国大会出場支部（地域実践活動）が道央ブロック内から選抜されることから、札幌支部青年委員会としては全国大会出場も視野に入れながら、地域貢献活動に取り組んでおります。

□スキルアップ

青年委員会では、「道央ブロック協議会」「全道青年建築士の集い」「全道青年サミット」などの研修会へ積極的に参加し、リーダーになるべく訓練や、プレゼンテーションの訓練、コミュニケーションのとり方など多くのことを学んでいます。今後は、青年委員だけがスキルアップするのではなく、一般の若手建築士のため

にも、コミュニケーション系の勉強会を開催するなど、何らかの貢献活動ができればよいかと考えています。

□仲間づくり

新たな事業として、今年3月に「若手建築士の交流会」を行いました。仕事が忙しく、なかなか会社以外の建築士と交流ができない若手建築士のために、「仲間づくり」の場を提供することを目的に、開催いたしました。参加者の方々からは、仲間づくりができて有意義だったとの声も多く、盛況に終わった交流会となりました。来年も是非、実施していきたいと考えております。

近年、建築士会の会員数が減少傾向にあるようです。建築士会へのメリットを感じられず退会されていく方が多いのかもしれませんが、もし建築士会にブランド力があればいかがでしょうか？名刺に建築士会会員という肩書きがあれば、お客様からの信頼度がアップするとか・・・。

ブランド力向上には必然ながら建築士会員の資質向上が求められます。さらには一般市民からのニーズを踏まえた上で、より建築士会をアピールする活動が必要になってくるのではないのでしょうか？ 微力ながら、建築士会のブランド力向上に、青年委員として、少しでも貢献できるよう努めていきたいと考えております。